

海外派遣留学プログラム報告書

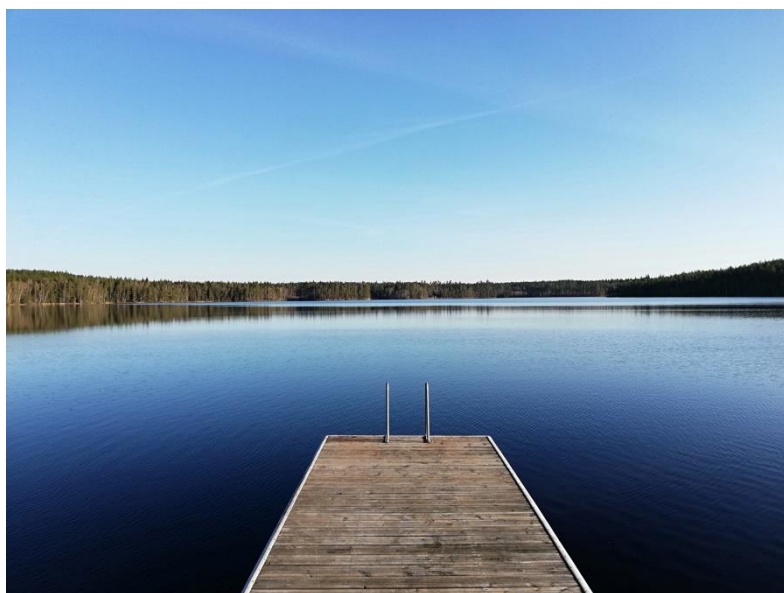
2019. 04. 01-2019. 04. 30



スウェーデンでの生活も残り2ヶ月となりました。もう雪はほとんど溶けて、太陽もクレイジーな時間に沈んだりしないようになりました（真冬時には午後3時に日が落ちたことも）。今月はロンドンで行われたGNF主催のロンドンキャリアフォーラムに参加してきました。ロンドンの旅行では吸収したものが多すぎて、どこまで伝え切れるか分かりませんが、これから留学に行く人にとっては気になるテーマだと思うので、本当に言いたいことだけをピックアップして報告したいと思います。

それから、上の写真はLinköpingから電車で2時間ほどのところにあるHögsbyという所で撮りました。日本にゴールデンウィークという不思議な大型連休があるのと同じように、キリスト圏ではイースター連休があります。その連休を使って友達6人とHögsbyに出かけました。みんなで1つのサマーハウスを借りて、BBQをしたり湖にダイブしたり、ちょうど

温度が高い一週間だったのでまるでもう夏が来たかと思うようなことをしてみんなで楽しく過ごしました。



時間がゆっくり流れて、みんなでいろんなことについて話したり、お気に入りのゲームをしたり、ハイキングをしたり、本当にリラックスできたし良い思い出になりました。

スペイン人の友達が作ってくれたこの串焼きはよくスパイスが効いていてすごく美味しかった！交換留学のいいところはその留学した国だけでなく色々な国から来た交換留学生たちと友達になって彼らの国の文化にも触れることができることだと思います。例えば、スウェーデンではこういう制度があるよね、私の国ではそんな制度はないからびっくりしたよ、あなたの国ではどうなの？という会話はよくされます。外国の学生は自国の政治事情について驚くほど詳しく説明することができます。なのでそういう話題が始まった時にいつも知識の至らなさを恨みます。自国を離れる前に自国についてしっかり知ることです。



ここからロンドン旅行について書いていきたいと思います。初めての一人旅でした。まずロンドンに行って一番良かったと思うのは人との出会いがあったことです。泊まった宿はホステル（日本ではポピュラーではないが、部屋が個室ではなくドミトリータイプで二段ベッドの上か下が与えられて、そこだけが自分のスペース。いうならカプセルホテルのカプセルなし？笑）で、大抵のホステルには宿泊客が自由に使えるキッチンやラウンジがあります。

私は初日の夜にキッチンで1人のおじいさんと話しました。就活のために来たと言うと有益になりそうなサイトの名前を教えてくれたり、彼の昔話を聞いたり（若い頃に日本人の彼女がいたんだって）、楽しい夜でした。彼に人生の中であの選択は失敗だったなと思うことはあるかと聞くと、彼は多少の後悔がなければ人生は面白くないと答えました。彼がなぜあの年でホステル住まいなのかはお互い話題にしようとはしませんでした。ほんとうに世界中を見れば色々な生き方があるなと思いました。私は彼がこの先もずっと幸せでいらいたいと思います。

2日目の夜は日本人の旅人たちに会いました。みんなそのホステルで知り合ったばかりだそうで、私も混ぜてもらって一緒にご飯を食べながらたくさん話をしました。彼らの中にはもらった数十個の内定を蹴って海外を旅行しい始めた人や、日本で働いている時にうつ病になって世界中を旅行しようと考えた人や、高いセールス能力を持っていてど



こに行っても何か自分が稼げる方法を見つけて食べていこうとしてる人、さまざまな経歴や考え方の人たちがいて（しかも彼らのほとんどは日本で毎日働く人と同じくらいの収入を作り出しているのがすごい）、話を聞いてるだけで本当にいつも新鮮な気持ちになりました。あの人たちに出会えて、多分もう会うことはないけど、本当に幸運だったと心から思います。

そして3日目ついに私の就活デビュー戦、ロンドンキャリアフォーラム DAY1 を迎えました。スーツはスウェーデンで友達に借りたものを着て、バックとパンプスは安く買いまし

た。会場に着くとおんなじ格好の日本人がたくさんいて、ああ日本はこんな感じだったかと面白くなりました。参加している企業は大企業もベンチャーもあって業種もそれぞれ違う会社が集まっていて一度にいろんな視点からの話を聞いたので結果的に行って良かったと思っています。今まで全く視野に入れてなかった分野の会社の話を聞いて、もっとその業界について調べてみようと思うきっかけになったし、私と同じように海外留学して日本で働こうと思ってる人たちが山ほどいると実際にこの目で見れたことも自分に危機感を持たせた原因の一つになりました。

キャリアフォーラムに行ってから本当に真剣に就活に向き合うようになったと思います。帰国日がどんどん迫っている中で、しっかり帰国後のプランを立てていかなければいけません。



英語の表現の一つに book smart と street smart という言葉があります。book smart は頭の賢い、勉強が出来る人のことを指します。一方、street smart は困難な状況でも成功するために必要なスキルやセンスを持つ人のことをいいます。今回のロンドン旅で、私はまさにその両者に出会いました。日本の上等レールから外れても海外を歩き回って、金を稼ぐ方法をよく知っている人たち。レベルの高い教育を受け海外に渡って、勉強している人たち。そしてどちら側からも刺激をもらいました。留學生活の中で最も有意義な経験のうちの一つだと確信しています。